

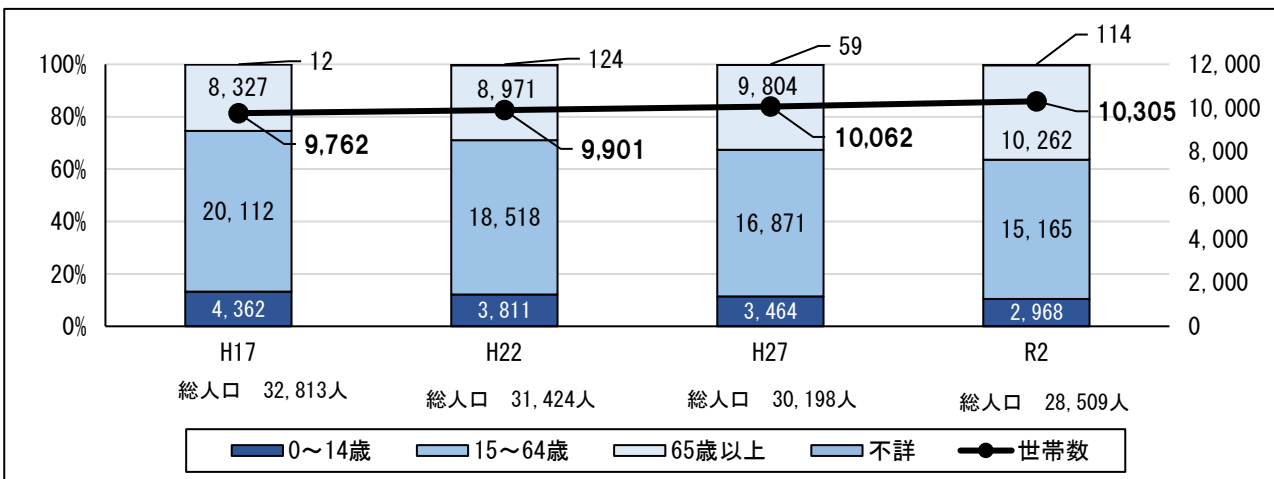
第2章 胎内市の現状

1 人口や世帯等の推移

当市の人口は、令和2年10月1日時点で28,509人であり、平成17年からの人口の推移をみていくと、人口は減少しています。内訳をみると、0～64歳の人口は減少し、65歳以上の人口は増加しており、人口に対する高齢化率が高くなってきています。（図表3）

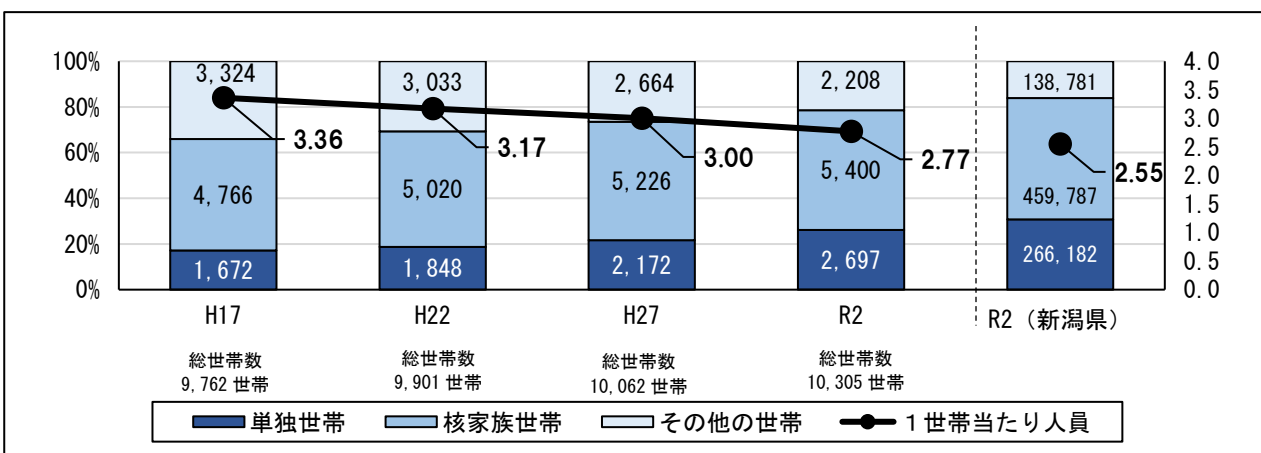
一方で、世帯数は年々増加しており、特に単身世帯、核家族世帯が増えています。それに伴い、1世帯当たり人員は年々減少しています。（図表4）

図表3 胎内市の人口及び世帯数の推移（単位：人）



出典：国勢調査 ※平成17年は中条町、黒川村の合算値

図表4 世帯構成割合及び1世帯当たり人員の推移（単位：人）

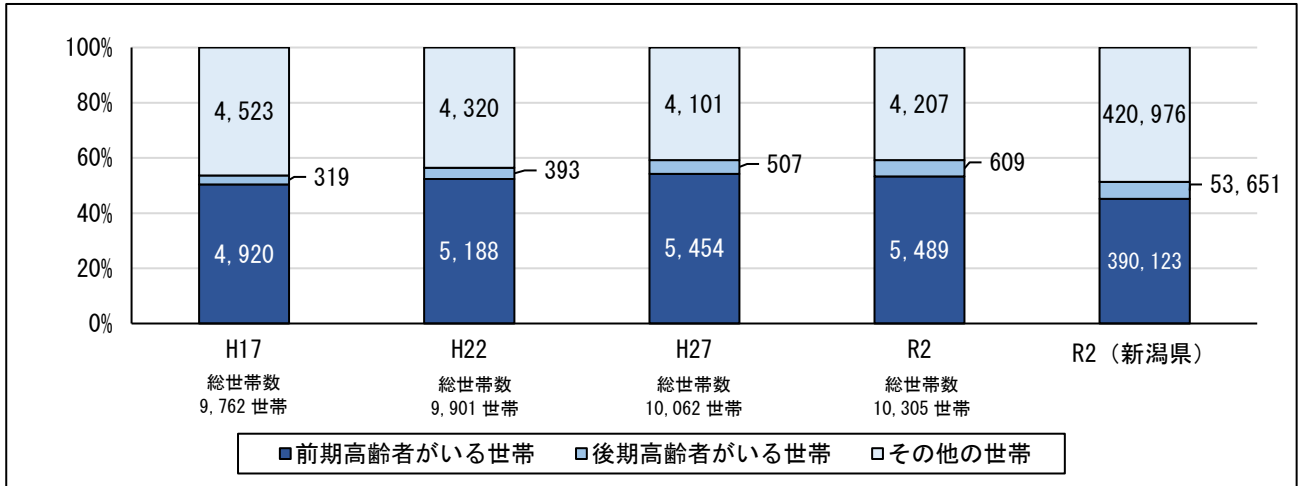


出典：国勢調査 ※平成17年は中条町、黒川村の合算値

第2章 胎内市の現状

前期高齢者（65～74歳）、後期高齢者（75歳以上）のいる世帯は年々増加しており、新潟県と比較しても高い状況です。（図表5）

図表5 高齢者がいる世帯の割合の推移（単位：人）

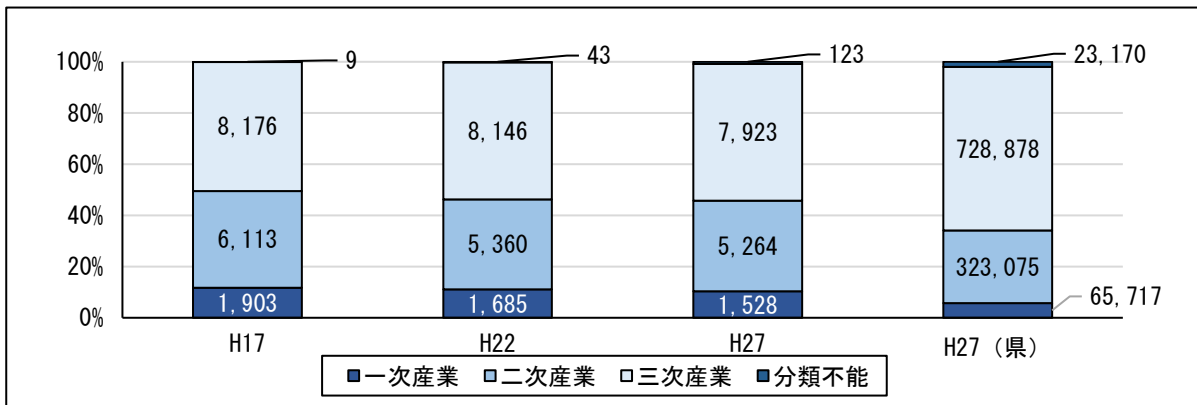


出典：国勢調査 ※平成17年は中条町、黒川村の合算値

2 産業別就業人口等の推移

産業別に見た就業者の割合は、自然や食と関りが深い一次産業の就業者の割合が年々減少し、二次・三次産業の就業者の割合が増加しています。（図表6）

図表6 産業別就業人口の割合の推移（単位：人）



出典：国勢調査 ※平成17年は中条町、黒川村の合算値

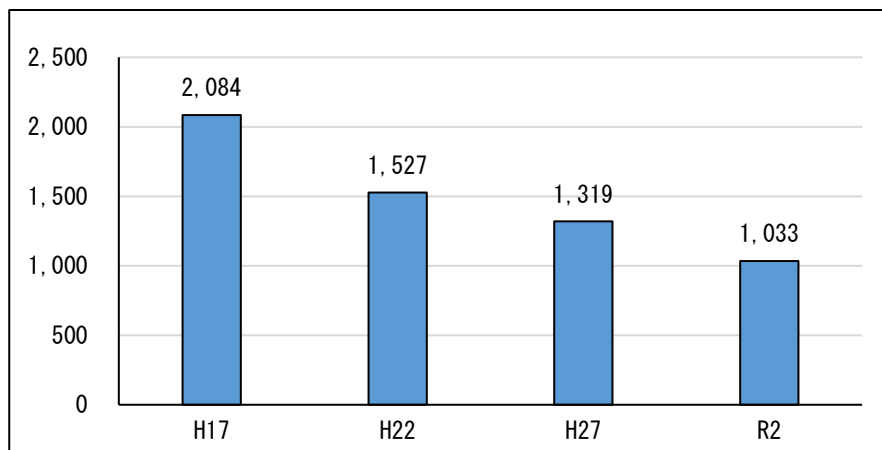
※一次産業：農業、林業、水産業など人間が自然に働きかけて営む産業

二次産業：製造業・建設業など材料を加工して工業製品をつくる産業

三次産業：飲食・サービス業など一次産業にも二次産業にも分類されない産業

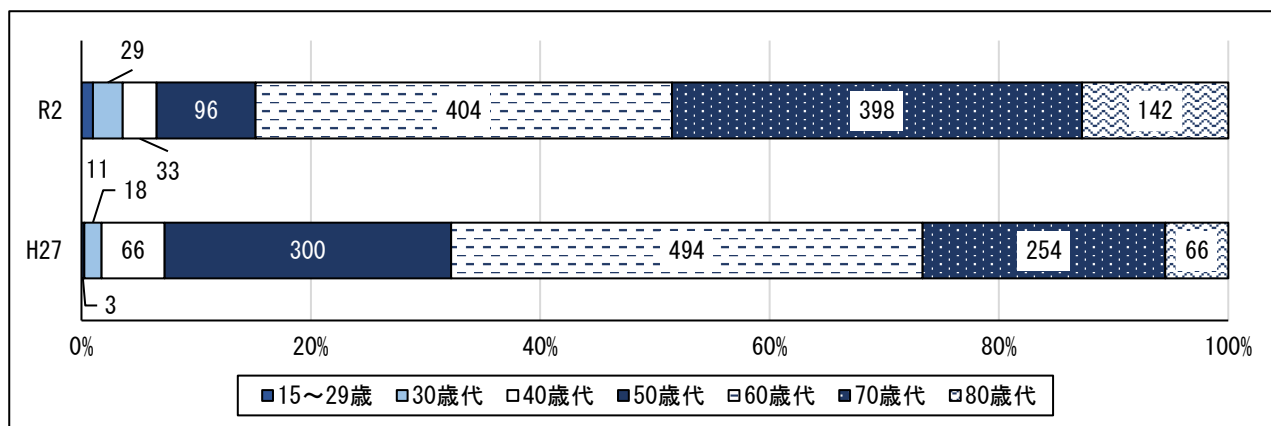
農業経営体数は年々減少しており、平成17年と比較すると約半数に減少しています。(図表7) また、農業経営者の割合は、平成27年に比べ50歳代が大きく減少し、70、80歳代で増加し、高齢化が進んでいます。(図表8)

図表7 農業経営体数の推移 (単位: 人)



出典: 農業センサス ※平成17年は中条町、黒川村の合算値

図表8 農業経営者の推移 (単位: 人)



出典: 農業センサス ※平成17年は中条町、黒川村の合算値